

# 政治参加の意義学ぶ

## 岡山工高で市選管出前授業

岡山工業高（岡山市北区伊福町）の2年生約310人が23日、市選管による出前授業を



住民投票制度の特徴について説明する  
沢准教授

受けた。模擬投票などを通じ、政治参加の意義を学んだ。

模擬投票は、生徒が考えた3議案で討論の上、賛否を争った。「小学生はオンラインゲームを1日1時間以内に制限する」という議案では、賛成派が「ゲーム依存になると学力、体力の低下につながる

ので制限すべき」、反対派は「各家庭の教育の問題であり、制限はやりすぎ」と訴えた。

投票結果は反対多数で否決された。

山陽学園大地域マネジメント学部の沢俊晴准教授（地方自治）による講演もあり、地方自治体の住民投票制度を説明した。

星島悠来さん（17）は「若い世代もしっかり意見を言えるように勉強したい」と話した。

出前授業は、来年度有権者になる生徒の主体者意識を育もうと企画された。（岡崎創史）